

令和4年度

# 事業報告書

社会福祉法人 武雄市社会福祉協議会

## 1. 事業の概要

「お互いさまと言えるあたたかいまちづくり」を基本理念に、関係機関、関係団体、ボランティア、市民のみなさまのご協力を得て福祉事業の企画、実践に取り組んだ。

老人福祉センターの運営は、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、高齢者の方の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。

また、関係機関と連携をとり、生活にお困りの方やコロナ禍の影響を受けて収入が減少された方などの相談や食料支援などに取り組んだ。

中止した行事もあるが、参加方法や開催方法を工夫して新型コロナウイルス感染対策をとりながら事業を実施することができた。

## 2. 社会福祉協議会会務の運営

### 【1】役員会（理事会・監事会）の開催

#### (1) 理事会

①第1回理事会：令和4年6月8日（水）10：00～

議事

- ・令和3年度事業報告
  - ・令和3年度決算（※監査報告）
  - ・令和4年度補正予算（第1回）
  - ・評議員選任候補者の推薦
  - ・令和4年度定時評議員会の開催
- 報告事項
- ・会長専決事項の報告（事務局規程の一部改正）
  - ・会長専決事項の報告（令和3年度補正予算 第4回）
  - ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

②第2回理事会：令和5年3月16日（木）10：00～

議事

- ・令和5年度事業計画
  - ・令和5年度当初予算
  - ・評議員選任・解任委員会委員の選任
  - ・評議員選任候補者の推薦
  - ・令和4年度第2回評議員会の開催
- 報告事項
- ・会長専決事項の報告（令和4年度補正予算 第2回）
  - ・会長専決事項の報告（令和4年度補正予算 第3回）
  - ・会長専決事項の報告（令和4年度補正予算 第4回）
  - ・会長専決事項の報告（職員就業規則の一部改正）
  - ・会長専決事項の報告（育児休業・介護休暇等に関する規程の一部改正）
  - ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

③第3回理事会：令和5年3月24日（金）13：30～

議事

- ・副会長の選任
- ・会長専決規程の一部を改正する規程

(2) 監事会

①第1回監事会：令和4年5月20日（金）10：00～16：00

監査事項

- ・令和3年度武雄市社会福祉協議会会計の諸表

②第2回監事会：令和4年11月10日（木）10：00～16：00

監査事項

- ・令和4年度武雄市社会福祉協議会上半期会計の諸表

【2】評議員会の開催

(1) 定時評議員会：令和4年6月23日（木）10：00～

議事

- ・令和3年度事業報告及び決算（※監査報告）
- ・令和4年度補正予算（第1回）
- ・理事の選任
- 報告事項
- ・会長専決事項の報告（令和3年度補正予算 第4回）

(2) 第2回評議員会：令和5年3月24日（金）10：00～

議事

- ・令和5年度事業計画及び当初予算
- ・理事の選任
- 報告事項
- ・会長専決事項の報告（令和4年度補正予算 第2回）
- ・会長専決事項の報告（令和4年度補正予算 第3回）
- ・会長専決事項の報告（令和4年度補正予算 第4回）

【3】評議員選任・解任委員会の開催

(1) 文書審議 令和4年6月9日付

審議内容

- ・評議員の選任

(2) 令和5年3月17日（金）10：00～

議事

- ・評議員の選任

【4】社協会員の加入促進

市内全戸会員制度の意識高揚と財源確保を目的として、7月の募集月間に区長会並びに民生委員児童委員協議会のご協力を頂き加入促進に取り組んだ。多くの会費をお寄せいただいた。

	会員件数	納入額（円）
一般会費（1口 400円）	14,262	5,704,800
賛助会費（1口 1,000円）	924	1,009,000
団体会費（1口 3,000円）	0	0
法人会費（1口 5,000円）	8	60,000
計	15,194	6,773,800

【5】社協広報誌の発行

「武雄市社協だより かがやき」を計6回（奇数月）作成し、社協活動・地域福祉活動の啓発を目的に市内全戸に配布した。

### 3. 老人福祉センター事業

#### 【1】老人福祉センター運営事業「日輪荘」(市補助事業)

送迎バス「日輪号」を週4回(火・水・木・金)定期運行し利用者の送迎を実施した。  
また、健康相談、謡曲教室、吟詠教室、囲碁例会などを開設し、高齢者の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。開館日数は236日で、利用状況は次のとおりである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
653	572	683	572	536	554	599
11月	12月	1月	2月	3月	計	
594	595	571	708	791	7,428人	

#### 【2】老人福祉センター運営事業「長寿園」(市補助事業)

送迎バスを北方町内で定期運行し送迎を実施した。また、高齢者の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。開館日数は237日で、利用状況は次のとおりである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
373	263	286	239	138	211	272
11月	12月	1月	2月	3月	計	
312	256	276	268	318	3,212人	

#### 【3】老人福祉センター運営事業「さざんか荘」(市受託事業)

送迎バスを山内町で定期運行し利用者の送迎を実施した。また、高齢者の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。開館日数は236日で、利用状況は次のとおりである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
247	238	300	297	303	294	299
11月	12月	1月	2月	3月	計	
287	275	261	302	353	3,456人	

※台風4号のため休館：7/5

※大雨のため休館：7/19

※台風11号のため休館：9/6

※大雪のため休館：12/23

※寒波のため休館：1/25

### 4. 生きがい対応型デイサービス事業(市受託事業)

介護保険の認定を受けていない高齢者を対象として、「生きがい対応型デイサービス事業」に取り組んだ。利用者数は次のとおりである。

#### 【1】湯遊くらぶ(武雄)

(単位：人)

	武雄	橘	朝日	若木	武内	東川登	西川登	計
R4年4月	53	20	48	32	61	57	9	280
5月	50	22	44	23	53	71	13	276
6月	77	20	43	35	73	67	11	326
7月	61	21	21	26	68	51	6	254

8月	81	12	40	30	48	58	7	276
9月	73	13	20	34	71	38	6	255
10月	67	23	24	24	63	53	6	260
11月	72	14	39	25	51	57	7	265
12月	65	7	37	21	55	60	11	256
R5年1月	48	9	43	15	55	41	7	218
2月	66	7	43	18	49	58	8	249
3月	79	12	32	25	74	55	8	285
計	792	180	434	308	721	666	99	3,200

### 【2】ふれあい (山内)

R4年4月	50
5月	45
6月	51
7月	48
8月	34
9月	53
10月	48
11月	40
12月	40
R5年1月	50
2月	42
3月	53
計	554

### 【3】やわらぎ (北方)

R4年4月	76
5月	71
6月	82
7月	55
8月	65
9月	53
10月	56
11月	64
12月	61
R5年1月	49
2月	58
3月	58
計	748

※台風4号のため休館：7/5

※大雨のため休館：7/19

※台風11号のため休館：9/6

※大雪のため休館：12/23

※寒波のため休館：1/25

## 5. 生活支援事業

### 【1】弁護士相談

佐賀県弁護士会の協力を得て、無料相談を計24回開催した。開催日及び会場は次のとおり。

本 所 毎月第2木曜日 13:00～16:00 (年12回)

山内支所 毎月第4木曜日 13:00～16:00 (年12回)

### 【2】遺言・相続相談

佐賀県行政書士会の協力を得て、遺言及び相続に関する無料相談を計12回開催した。開催日及び会場は次のとおり。

本 所 偶数月第3木曜日 13:00～17:00 (年6回)

山内支所 奇数月第3木曜日 13:00～17:00 (年6回)

また、社協事務局でも各種相談を受付けており、年間の相談受付件数は次のとおりである。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・医療	人権・法律	財産・相続	借金問題	金銭トラブル	事件・事故	老人福祉	児童福祉	障がい者福祉	ひとり親	苦情	その他	計
件数	1	0	1	8	2	0	9	0	1	45	6	4	3	0	0	0	0	0	19	99

【3】福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方を対象に、金銭管理、福祉サービス利用の手続きなどの支援を行った。令和4年度末の利用者数は55人（内新規25人、解約7人）、相談支援件数延6,709件であった。

【4】つなぎ生活費貸付事業

低所得者世帯に属し、生活上一時的につなぎ生活費を必要とする方を対象に、関係機関と連携を取りながら資金貸付を行った。令和4年度の貸付相談件数179件、貸付件数67件、貸付金額1,108,000円であった。

なお、償還の見込みのない貸付金については処理要綱に基づき、次のとおり債権の不能欠損処理を行った。

- ・第3条第1号に該当する不能欠損処理 2件 40,000円
- ・第3条第2号に該当する不能欠損処理 3件 35,000円

【5】県社協生活福祉資金貸付事務事業

県社協の委託事業で、低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を対象に資金を貸し付けることにより、その世帯の自立更正を図ることを目的に事業を実施している。

令和2年3月から新型コロナウイルス感染症の影響により緊急小口資金等の特例貸付の相談窓口を開設し、令和4年9月まで申請受付、9月以降は償還の免除や猶予申請などの相談を行った。令和4年度の相談件数は次のとおり。

特例貸付相談件数 177件	
貸付 35件 9,660,000円	緊急小口資金 21件 3,210,000円
	総合支援資金 14件 6,450,000円

※その他通常資金等の相談31件

【6】生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業・家計改善支援事業・就労準備支援事業）

武雄市の委託事業で、生活困窮者を対象に自立した生活に向け、関係機関と連携し相談業務を行った。令和4年度は次のとおり。

相談者数	178人	
支援申込	77件	
プラン作成	23件	自立支援 14件
		家計支援 7件
		就労準備 2件

## 【7】緊急生活支援

いのちをつなぐ糧事業では個人及び団体から 83 件、玄米、弁当、乾麺、缶詰、インスタント食品、レトルト食品等のご寄附を頂き、非常食と合わせ延べ 297 件食料を支援した。

## 【8】武雄市生活困窮者支援体制を構築するためのプラットフォーム整備事業（冬休みチャレンジ教室）

冬休み期間に自宅で過ごす子ども達に、宿題を一緒に行う学習支援と子ども同士やボランティア等との多世代交流や体験活動を通して、学校とは違った環境で安心して楽しく過ごせる居場所を提供する目的で実施した。結果、宿題を終わらせることができ、わからない点はこどもの笑顔コーディネーターに教えてもらうことができた。体験活動も地域のボランティアの協力を得て餅つきや正月飾り作りを実施し多世代交流としても成果が得られた。

日 時：令和 4 年 12 月 24 日～28 日の 5 日間

参加者：小学 4 年～6 年生、延べ 65 名参加

協力者：武雄市笑顔コーディネーター、武雄市スポーツ推進委員協議会、日本赤十字社佐賀県支部、その他地域ボランティア

## 【9】エール事業

新型コロナウイルス感染症で金銭的精神的に生活に影響を受けている子どもや家族を応援するため次の取組みを行った。

### ①いのちをつなぐ糧事業の拡充

いのちをつなぐ糧事業での食料を拡充して、生活困窮者の現状や家族構成に合った食料支援をおこなった。対象者実数 42 世帯（対象者延数 113 人）

また、歳末から 3 月までに、市内小学校のこどもの笑顔コーディネーターを通じ小学生の保護者 16 名、母子寡婦福祉連合会 16 名、就労継続支援施設利用者 30 名へ米をお渡した。（米合計 725 kg）

### ②生理の貧困への対応

相談に来られた方へ生理用品の支援を行った。

社協の女子トイレに生理用品を配置した。

母子寡婦福祉連合会へ生理用品の支援を行った。

### ③ひとり親家庭を支援する団体への応援

母子寡婦福祉連合会が行う学習支援事業に軽食の支援を行った。

### ④収入が減少し生活に困窮する方及び子どものいる世帯を支援

歳末に、特例貸付を申請された 31 世帯に、いのちをつなぐ糧事業でいただいた米をお渡しした。（米 265 kg）また、同世帯で高校生以下の子ども 24 名にお菓子を贈った。

## 【10】武雄市新型コロナウイルス感染症自宅療養者買物代行（市受託事業）

新型コロナ感染症の陽性者の方がおられる世帯で、食料品や生活必需品の購入にお困りの方に買い物代行を行った。依頼件数 19 件であった。

【11】避難行動要支援者調査事業(市受託事業)

災害時の要援護者への迅速な支援に備えるため、各要援護者宅へ訪問し、緊急連絡先の確認や避難優先度の確認などの調査やニーズの収集をおこなった。調査件数は次のとおり

武雄町	橋町	朝日町	若木町	武内町	東川登町	西川登町	山内町	北方町	合計(件)
53	13	28	6	15	14	5	51	20	205

6. 地域福祉活動事業

【1】地域福祉活動計画の推進

(1) 小地域ネットワーク活動推進事業(市受託事業)

地域に住む援助の必要な方々が、地域の方々が助け合い支え合って生活できる支援体制づくりの推進に取り組んだ。地区社協を核とし、民生委員の協力を得て見守り体制の強化に努めた。事業受託3年目となる今年度は、全町で取り組みをおこない、対象者計327名、協力員延べ559名が登録された。地区社協へ1,557,000円助成を行った。

(2) ふれあいいいききサロン推進事業

高齢者の方々を対象に、地域の人々が助け合い生きがいをもって生活できるよう、地区社協を核とし、ボランティアの協力を得ながらサロンの設置に努めた。令和4年度も武内町の生活支援コーディネーターと協力し、武内町で2回「サロン体験会」を実施した。また、各地区社協が主催するサロンの集いにサロンの運営に関する情報を提供した。3月末現在のサロン設置件数は133件(内新規7件、解散7件)。

(3) 認知症地域支援・ケア向上事業(市受託事業)

市受託事業で、住民や認知症サポーター、医師や介護の専門職など、さまざまな人・団体と連携、協力しながら認知症になっても安心して暮らせるように地域で支える体制づくりに取り組んだ。

①地域において認知症の方を支援する関係者の連携を図る取り組み

キャラバンメイト情報交換会を2回開催。コロナ禍の為、施設関係者が多いメイト同士の情報交換は参加自体が難しいメイトも多く、開催方法等の課題もある。

②地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制を構築するための取り組み

- ・地域から寄せられる認知症相談を市や関係機関に繋げた。相談14件。
  - ・認知症の方やそのご家族が集える場として認知症カフェを4回開催。
- また、今年度より初めて認知症や家族での悩みを共有できる場として「ピアカフェ」1回開催。(2回の予定だったが、場所提供店舗の都合により急遽後半1回は中止)

③その他、認知症予防啓発活動の取り組み

- ・出前講座で認知症の正しい知識を伝えた。  
(予防講座18件、養成講座入門編16件、養成講座実践編2件)  
合計36件(市内全中学校と武雄看護リハビリテーション学校を含む)
- ・企業向け認知症サポーター養成講座(認知症セミナー)の開催  
開催日：令和4年7月21日  
参加者：16事業所より29名
- ・認知症啓発イベント「認知症共生フェスタ」の開催  
開催日：令和4年10月22日  
内容：講演・武雄看護リハビリテーション学校学生による健康体操の披露、マルシェ等 参加者：160名



- ・地域主体の認知症カフェ1件の認定
- ・市内全中学2年生へ認知症標語を募集し、442名の応募あり。受賞作品を広報紙「オレンジだより」で紹介する。

【2】地区社協活動の支援

(1) 地区社協活動費の交付

地域の実情を踏まえ社協活動を強化し、それぞれの地域に応じた活動による、住民の福祉の増進を図るため、総額4,585,000円の地区社協育成費を交付した。

(2) 家屋内ごみ片付け支援事業

地域から孤立し、自力による家屋内のごみ片付けが困難な方を対象に地区社協が行う片付け作業の経費を助成しているが、令和4年度は相談1件があったものの、実施には至らなかった。

【3】サロン等わくわくお出かけ支援事業（市受託事業）

生きがいデイサービス送迎車両の空き時間を有効活用し、サロン利用者等のお出かけを支援することにより、外出の機会を増やしてより充実したサロン等活動につなげることを目的とした事業で、64件の利用があった。

【4】各種福祉団体等運営費助成事業

市内で活動する9つの福祉団体に総額2,561,650円の助成金を交付し、福祉団体の育成と活動の支援を行った。

【5】地域福祉活動事業の実施

(1) 地域福祉を考える会

コロナ禍で親子イベントや学校での福祉体験の機会が減少している中、親子で楽しく問題を解きながら福祉に関する興味関心を持ってもらう目的で、「おやこdeなぞときクエスト」を7月30日に計画したが、市内での感染者数が急増した為、急遽中止となった。

(2) 共生型ふれあい交流事業

障がい当事者の方、ボランティア等と直接交流を図れるよう武雄市レクリエーション協会の方を講師に迎え、ダンスと楽器作りをする計画を立てていたが、武雄市内の施設側から、コロナ禍でまだ施設外部との交流は難しいとの声があり今年度は開催を中止した。

(3) 新入学児童「黄色い帽子」贈呈事業

市内小学校の新入学児童の交通安全と地域住民の見守りによる防犯を目的に、地域の方々のお祝いメッセージカードを添えて、市内11の小学校で総数423個の黄色い帽子を贈呈した。

(4) 移動サービス・移送車貸出事業

公共の交通機関を利用しての外出が困難な高齢者や障がい者を対象に、福祉車両（車イス搬送仕様自動車）を利用した移動サービスと福祉車両の貸し出しを行った。

利用者	13名
延べ利用件数	136件
移動車貸出	5件
運転ボランティア	10名

(5) 「お互いさま活動」支援事業

地域の団体・グループが地域と共同して継続的に行う福祉のまちづくり事業に対し助成するもので、令和4年度は新規2団体に総額200,000円の助成金を交付した。

(6) 傾聴講座の開催

人とのコミュニケーションをおこなう上で最も重要とする傾聴を、多くの方に学んでいただき、地域住民同士、相手の気持ちに寄り添い、共感をすることで孤立をさせない体制づくりをおこなうことを目的に開催した。

日 時 令和5年3月15日(水) 13:30~15:00

場 所 武雄市文化会館中集会室A

参加者 34名

(7) 終活講座の開催

講師に行政書士の吉野健二氏をお迎えし、市民の方を対象に、人生の最期に向けて、自身がいなくなった後、自分自身の気持ちの整理のため、遺された家族の負担を減らすため、そして逝去後の葬儀や相続等についての講座を開催した。

日 時 令和5年3月17日(金) 13:30~15:00

場 所 武雄市文化会館大集会室A

参加者 38名

(8) 福祉教育の推進と体験学習指導

市内小・中・高校を対象として、社会福祉への理解と関心を高めるために、総合学習の一環として依頼があった市内小中学校で福祉体験教室を実施した。

高齢者疑似体験	4校
アイマスク体験	4校
車イス体験	5校
手話体験	3校

また、昨年度に引き続き福祉教育推進事業として障がい当事者の方をゲスト講師に迎え、山内中学校にて障がい者スポーツを取り入れた福祉教育に取り組んだ。

(9) 市内最高齢者記念品贈呈

敬老の日にあわせて長寿を祝い、市内の男女それぞれの最高齢者に記念品を贈呈した。

男性102歳 女性107歳

【6】ボランティア事業

(1) ボランティア活動支援事業

① ボランティア活動実践校活動費助成金交付事業

市内の小・中・高等学校、14校に対しボランティア実践校として、活動費総額569,254円を助成し育成に努めた。コロナ禍で地域活動が思うように出来ず、4校が一部返金となった。

小学校	武雄小、御船が丘小、朝日小、若木小、武内小、西川登小、東川登小、橋小、山内東小、山内西小、北方小
中学校	武雄北中、山内中、北方中

② ボランティアグループ活動費助成事業

市内のボランティアグループで、事業費の申請があった12グループ(13事業)に対して総額618,000円の助成金を交付した。

③障がい児者交流活動事業助成事業

障がい者の社会参加と自立を促進するため、市内の福祉団体が行う障害児者交流活動に対し 38,000 円の助成を行った。

④「拝啓、お元気ですか」助成事業

地域の高齢者の見守り支援を目的とした事業を実施する市内ボランティアグループ等 9 団体に対し、事業費の助成金、総額 815,000 円を交付した。

(2) ボランティアセンター事業

ボランティア活動の活性化を図るために次の事業を行った。

①ボランティアコーディネート（相談・登録・情報提供）の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

②ボランティア活動保険の受付

地域行事やボランティア活動などを支援するため、ボランティア保険の加入受付を行った。  
ボランティア活動保険 加入者数 650 名

③市ボランティア連絡協議会への支援・協力

市ボランティア連絡協議会が行う各種事業を支援し、事務局として組織の拡大とその運営を補助した。  
・加入団体数 33

④24 時間テレビチャリティへの協力

24 時間福祉車両寄贈申込みの受付や募金の受付窓口の協力を行った。令和 4 年度は北方中学校生徒会で地域住民の方へ街頭募金活動を自主的に実施され、受付けた募金を佐賀県社会福祉協議会へ送金した。

【7】安心安全なまちづくり支援事業

住民が住み慣れた地域で安心・安全に生活するため、課題解決に向けた取り組みを支援する事業として 4 地区へ助成金を交付した。

・永島区	公園フェンス設置事業	200,000 円
・東梅野区	森ノ木地区広報用屋外掲示板設置事業	200,000 円
・西梅野区	西梅野公民館広報用屋外掲示板設置事業	200,000 円
・宮野区	赤田コミュニティ広場歩道手すり設置事業	200,000 円

【8】第 14 回武雄市社会福祉大会の開催

より良い地域の福祉について考える機会とすることを目的に、3 年ぶりに開催した。

- ・式典では、社会福祉の発展に貢献された 56 名の方を表彰した。
- ・講演では、手話通訳士の中野佐世子氏より「ハッピーコミュニケーション～誰もが笑顔でいられる社会のために～」と題し、お話をいただき、障害福祉に関する意識の向上が図られた。

日 時 令和 4 年 11 月 19 日（土）10 時～12 時

場 所 武雄市文化会館小ホール

参加者 約 200 名

【9】福祉機器等貸出事業

社協で所有する車イスの無料貸出しを行った。貸出し件数は 39 件であった。

【10】 災害見舞い

令和4年度中に市内で被災した世帯は、火災（全焼3件・4世帯）であった。罹災した世帯に対し、市社協、県共同募金会、日赤県支部より見舞金品を届けた。

【11】 脳イキイキ学習帳の販売

令和3年度に引き続き、脳イキイキ学習帳を販売した。（一冊500円 93冊販売）

7. 共同募金運動

【1】 赤い羽根共同募金

10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施し、区長会、民生委員児童委員協議会ほか、市民の皆様のご協力をいただいて、多くの募金をお寄せいただいた。

募金種別	実績額 (円)
一般戸別募金	7,083,000
法人募金	818,892
資材募金	622,600
学校募金	39,483
街頭募金	104,413
個人募金ほか	30,649
イベント募金	7,920
計	8,706,957

【2】 歳末たすけあい運動

篤志募金、学校募金、街頭募金の総額69,276円に、社協繰出金をあわせ、市内の12施設に各25,000円、計300,000円を年末年始の行事に役立てていただいた。

《施設名》 (福祉施設) シルバーケア武雄、くろかみ学園、すみよしの里、  
 (就労支援施設A型) ワークショップ道の家、  
 (就労支援施設B型) つくしのさと北方作業所、若楠、いぶき村、ゆめランチ、菜菜、LAUGHらふ、みふねが丘  
 (地域活動支援センター) オアシスみふね

【3】 義援金受付 令和4年度は無し

8. 赤十字活動

【1】 会員増強運動

区長会・婦人会にご協力を頂き、5月の赤十字運動月間に市内全戸に対し赤十字活動を支える会員としての呼びかけを行い、会員増強運動を実施した。多くの会費をお寄せいただいた。

	会員数・件数	納入額 (円)
会費 (1口 600円)	14,219	8,531,400
寄附金	1	3,008

## 【2】講習会等の実施について

### (1) 赤十字水上安全法講習会

夏場の水の事故防止のため、AEDを使った心肺蘇生法及び溺者救助法の講習会を行った。

日 時 令和4年7月9日（土）9：30～11：30

場 所 山内スポーツセンター及びプール

参加者 28名（保育士、学校プール監視員、市プール監視員）

### (2) 佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館見学

赤十字の精神を学ぶため日本赤十字社の創始者である佐野常民生誕200年にあわせて、市内小学4年～6年生を対象に行った。

歴史館を見学し、干潟よか公園で昼食の後、佐賀県血液センターを見学し、元気に赤十字の歴史や事業を学ぶことができた。

日 時 令和4年10月8日（土）8：45～16：15

参加者 13名

### (3) 災害救援講習会助成事業

災害救援の啓蒙や地域住民による災害時の知識や技術習得のための災害救援講習会の助成金として6地区へ119,829円を助成した。

## 【3】義援金受付

・令和2年7月豪雨災害義援金（熊本県）	5,000円
・ウクライナ人道危機救援金	170,961円
・2023年トルコ・シリア地震救援金	42,485円
・令和4年8月3日からの大雨災害義援金（新潟県、石川県）	45,000円